



# 2010-11プログラム年度 研究グループ交換地区申請書

第 \_\_\_\_\_ 地区用申請書

研究グループ交換プログラムとは、4人から6人のロータリアン以外の専門職者（年齢25-40歳）と1人のロータリアンのチームリーダーから成るチームが、交換関係を結んだ異なる国のロータリー地区へ交換旅行をする旅費を補助するものです。チームメンバーは、受入地区全域で、可能な限りロータリアンの家庭に滞在し、綿密に作成された日程表に従い行動します。チームメンバーは、受入国の専門的職務、商業、工業などにおける運営面や、政府、教育、保健、福祉および社会施設などを視察します。

## 重要事項

- この申請書は、未来の夢試験地区以外にお使いいただくものです。
- 国際財団活動資金（WF）での交換は連続した2年間に行わなければならない、1年目に一方のチームが、2年目に他方のチームが旅行する形となります。ただし、地区は、同じプログラム年度内に交換を行うために、地区財団活動資金（DDF）を配分することもできます。
- 国際財団活動資金（WF）は年々累積されることがなく、他地区に寄贈することができません。

## 追加GSE補助金

プログラム年度を問わず、地区は、交換の費用に充てるために、シェアを通じて地区財団活動資金（DDF）の配分を選択することができます。1つの地区がDDFを使用してGSEチームを派遣する費用は、米貨13,000ドルです（または隣国とのGSEの場合は米貨7,000ドルです）。交換は1プログラム年度内に実施、すなわち同年度にチームの派遣と受入れを行うことができます。

シェア・システムによる資金は、地区がDDFを活用したGSEチームの派遣を申請する際に、配分されなければなりません。

シェアの周期および研究グループ交換のために選べるさまざまな選択肢に関する詳細は、「地区ロータリー財団委員会要覧」（300-JA）を参照するか、ロータリー財団のシェア・システム・コーディネーターに相談してください。

ロータリー財団管理委員会は、シェアを通じてGSEチームを派遣する地区を組み合わせるよう、できる限り努力します。しかし、そのような組み合わせが不可能な場合は、適切なDDFは将来に使用するために地区のシェアに戻されます。

各地区は、1プログラム年度につき、最高2つのGSEチームを派遣することができます。各GSEチームにつき、1部ずつ地区申請書を記入しなければなりません。

## 海外のパートナーを探す

地区は事前にGSEの組み合わせを手配するよう奨励されています。ただし、10月1日の締切までにパートナーを確保することができない場合には、管理委員会が、過去の組み合わせ歴、パートナー候補の有無、地理的希望に基づき、適切な組み合わせ地区を指定します。事前にGSEの組み合わせを手配するには、地区のガバナー・エレクトに連絡してあなたの地区が交換に関心を持っていることを伝え、相手から交換の同意を得ておく必要があります。組み合わせの見込みがある地区のガバナー・エレクトまたはGSE委員長に、あなたの地区の興味深い文化、地理、歴史、および職業に関する事柄を理解してもらうために、Eメールや写真を送ってください。地区ガバナー・エレクトは、相手地区と連絡を取るために、RIウェブサイトの「会員アクセス」を利用することもできます。第3部（事前に手配した組み合わせ）に地区同士が相互に地区番号を記入した地区のみが、パートナーとして認められます。組み合わせの同意を得ていない、見込み地区や単なる希望地区は記入しないでください。

GSEの組み合わせ地区を探す際には次の事項を検討してください。

- 自地区と文化的に異なる地区（例えば、高所得国対低所得国、または言語や慣習が著しく異なる地域）
- 近年組み合わせを行っていない地域にある地区との組み合わせ
- 自地区の国際奉仕の目的と目標
- GSEチームが探求することのできる、共通の産業や社会的関心事（例えば、農業に関する類似した関心事や都市部の暴力または公衆衛生の問題など）を持つ地区

**国際財団活動資金（WF）およびDDFの申請書はすべて、2009年10月1日までに下記に提出しなければなりません。**



Group Study Exchange Department  
The Rotary Foundation  
One Rotary Center  
1560 Sherman Avenue  
Evanston, IL 60201-3698 USA  
電話：1-847-866-3330  
ファックス：1-847-556-2143



# 2010-11プログラム年度研究グループ交換地区申請書

第 \_\_\_\_\_ 地区用申請書

## 第1部—補助金の種類

以下の国際財団活動資金（WF）または地区財団活動資金（DDF）の選択肢からお選びください。地区から派遣されるチームごとに、申請書を1部ずつ記入してください。

### 国際財団活動資金を選択

当地区は、連続した2年間に交換を実施するために、国際財団活動資金（WF）を要請します。

### 地区財団活動資金（DDF）を選択—追加GSE（一つをお選びください）

当地区は、以下を使用することを決定しました（一つに印をつけてください）。

- \_\_\_\_\_ 同じ年度内にGSEチームを派遣するためにDDFから米貨13,000ドル
- \_\_\_\_\_ 同じ年度内に隣国へのGSEチームを派遣するためにDDFから米貨7,000ドル

当地区は、相手地区から以下の金額（一つに印をつけてください）の全額寄付を受け取りました。

- \_\_\_\_\_ 同じ年度内にGSEチームを派遣するために米貨13,000ドル
- \_\_\_\_\_ 同じ年度内に隣国にGSEチームを派遣するために米貨7,000ドル

当地区は、相手地区から以下の金額（一つに印をつけてください）の折半による寄付を受け取りました。

- \_\_\_\_\_ GSEチーム費用の半分会を賄うためにDDFを米貨6,500ドル
- \_\_\_\_\_ 隣国へのGSEチーム費用の半分会を賄うためにDDFを米貨3,500ドル

### および

当地区は以下を使用することを決定しました（一つに印をつけてください）。

- \_\_\_\_\_ GSEチーム派遣のための残りの半分会を支払うために、DDFを米貨6,500ドル
- \_\_\_\_\_ 隣国へのGSEチーム派遣のための残りの半分会を支払うために、DDFを米貨3,500ドル

## 第2部—地区の計画

### 交換の目的と目標

地区の奉仕目標を達成するために、研究グループ交換はどのように役立つでしょうか。

---



---



---



---

### チームの宿泊

あなたの地区における訪問チーム宿泊に関して記述してください（交換中や休養日などに関して）。ロータリアンの家庭でのホームステイが望まれています。

ロータリアンの家    ホテル    その他 \_\_\_\_\_

交換旅行の大半を通じ、地区がホームステイを提供できない場合、その理由を説明してください。

---



---



---



## 2010-11プログラム年度研究グループ交換地区申請書

第 \_\_\_\_\_ 地区用申請書

### 第3部—事前到手配した組み合わせ

本地区は、 \_\_\_\_\_ (国名) の第 \_\_\_\_\_ 地区とGSEの組み合わせを手配しました。

組み合わせ候補地区が当地区との組み合わせを申請書に記入しない限り、組み合わせは成立しないことを了承します。

管理委員会は、両地区が合意に基づき、互いを組み合わせ地区として要請した場合に限り、組み合わせを承認します。地区は、申請を提出する前に、適切な資金を確保しなければなりません。組み合わせ地区からの通信書簡を添付することは避けてください。組み合わせの相手地区となることに同意していない地区を、相手地区候補または望ましい相手地区として記入しないでください。

### 第4部—管理委員会の組み合わせに対する希望

文化、言語などが著しく異なる地区と交換を行うことによって、あなたの地区の体験を広げてください。下に組み合わせを望む地域を示してください。管理委員会は、財団の人道的目標を達成する組み合わせを決める権利を有します。特定の地域への組み合わせ希望が集中し、要請件数が地区の数を超えることがあるため、希望に添えない場合もあることをご了承ください。管理委員会の組み合わせを尊重するようお願いいたします。下記の「上記地域以外とGSEを行う希望はありません」のボックスに印が付いていない場合は、管理委員会の決定した組み合わせに従わなければなりません。

希望する地域 — 3つを選び、第一希望から順に番号を付けてください。

- 北米                       ヨーロッパ             アジア  
 ラテン・アメリカ       アフリカ                 オセアニア (オーストラリア/ニュージーランド)

上記地域以外とGSEを行う希望はありません。

管理委員会が、上記の希望地域と当地区を組み合わせることができない場合、当地区はGSE補助金申請を断念します。このボックスに印が付いていない場合、あなたの地区は、管理委員会が選択した組み合わせ地区とGSEを行わなければなりません。

### 第5部—専門的なGSE

地区に以下のいずれかの交換を組織する意思がある場合、印をつけてください。

- 単一職業GSEは、同一職業からなるチームメンバーが行う交換です。  
 人道的プロジェクトGSEは、地区の将来の人道的プロジェクトを見出すために行う交換です。  
 特別重点分野GSEは、特定の分野に焦点を絞って行う交換です。  
 従来型GSEは、多様な分野の専門職者からなるチームメンバーが行う交換です。  
 文化GSEは、ある国の美術、音楽、またその他の文化面に焦点を絞って行う交換です。  
 その他 \_\_\_\_\_

追加チームメンバー

- 当地区は、訪問チームの6人目/7人目のチームメンバーを受け入れることに同意します。  
 当地区は、6人目/7人目のチームメンバーを派遣することを希望します。私は、追加メンバー1名につき、米貨3,000ドル（または隣国GSEの場合は米貨2,000ドル）の追加DDFを使用することを当地区が承認したことを確認します。

### 補助金の条件

本補助金を受諾するに当たり、私たちは次の条件を理解し、同意します。

1. ロータリー財団管理委員会は、地区の組み合わせに関し、最終的な選定を行う権限を有する。
2. 地区は、プログラムを推進し、ホストファミリーを探し、GSEの指針に従い受入地区における日程を作成し、派遣チームに説明指導を実施することを含め、交換を管理するために地区ロータリー財団委員会の1つとしてGSE小委員会を任命した。この小委員会は、少なくとも3名のロータリアンから構成され、委員会の継続性を保つため任期をずらすものとする。
3. 地区は、チームリーダーおよびチームメンバーを選ぶための特設GSE選考委員会を任命した。選考委員会には、現地区ガバナー、直前地区ガバナー、地区ガバナー・エレクト、任期をずらした3名のロータリアン、および選考委員会委員長としてGSE小委員会委員長が含まれる。選考委員会は、次のようなチームメンバーを選ぶ。
  - a) 年齢25歳から40歳までの者、
  - b) 正規に雇用され、自身の職業分野で2年間の勤務経験を有していること、
  - c) 長期的に見て、GSEの体験がその人の職業生活に好ましい影響をあたえられようとする者であること、
  - d) 派遣地区内に居住または勤務していること。



# 2010-11プログラム年度研究グループ交換地区申請書

## 第 \_\_\_\_\_ 地区用申請書

4. チームメンバーは次の者であってはならない。ロータリアン、名誉ロータリアン、クラブ、地区、ロータリーの関連団体（ロータリー章典に定義される通り）、もしくは国際ロータリーの職員、上記の配偶者、直系親族（血縁による子または孫、入籍した養子、再婚による子供）、直系親族の配偶者、または直系尊属（血縁による両親、祖父母）、ロータリー財団もしくはRIと提携している機関、組織、団体の職員、およびロータリー財団細則第9.3項に定義されているそのほかの個人。チームメンバーは、同じGSEチームに任命されたほかのメンバーの配偶者であってはならない。
5. チームリーダーは、生存する直前ガバナー、現ガバナー、または任命を行う地区のガバナー・エレクトの配偶者、直系親族、養子（入籍有無にかかわらず）であってはならない。
6. クラブまたは地区レベルのGSE選考委員を務めるロータリアンは、申請者との私的または事業上での関係を明白にすることを求められ、GSE候補者（例えば、同業または組織の職員、所属ロータリー・クラブの会員、申請書を推薦したクラブの会員、家族）と選考委員との関係による利害の対立があったと見なされた場合やその事実があった場合、選考手続が始まる前に選考委員長に通知しなければならない。
7. チームリーダーおよびメンバーの配偶者または家族はいかなる場合も旅行に同行できない。
8. 財団は、GSEチームメンバーおよびリーダーの航空運賃のみを支給する。チームは団体で、派遣地区内の、または、派遣地区に最も近い出発点から、受入地区内の、または、受入地区に最も近い到着地点までの二点を往復しなければならない。
9. ロータリー財団は自国と受入国間の最低航空料金を支給し、受入地区のロータリアンは食事、宿泊、および地区内での団体研修旅行を手配する。
10. 研究プログラム中、チームメンバーは受入地区と一緒に旅行しなければならない。チームメンバーが研究旅行の終了以前にチームを離れることを選ぶ場合、そのメンバーは航空券の全額を負担しなければならないことがある。研究旅行終了後、チームメンバーは受入国あるいはそれ以外を自費で最高4週間まで旅行することができる。
11. 地区は、訪問チームのメンバーがそれぞれの職業、あるいは関連職業の代表者と個人的に会える職業研修日を、1人当たり最低5日間費やせるよう手配し、関連技術、開発の状態や程度を学び、アイデアや情報を交換出来るようにする（従って、4人のロータリアンではないメンバーから成る1チームにつき、約20日間の職業研修日となる）。
12. 地区は、訪問チームのために、毎週、少なくとも1日と半日の自由時間と、交換旅行の中頃での休養日を設けるようにする（この時間中はどのような活動も予定してはならない）。
13. GSEチームの航空券の発行は、受入地区が計画した日程表を派遣地区とGSEチームが受理、検討し、承認することを条件とする。
14. 地区は、国際ロータリーおよび国際ロータリーのロータリー財団、その理事、役員、職員に対し、研究チームの受入地区までの往復旅費を支給する以外には、地区およびその代表者の過失あるいは違法行為により生じたいかなる責務、責任、義務も負わせないことを保証する。上記には受入地区でのチームリーダー／メンバーの職業活動および奉仕が含まれるが、これに限定されるものではない。
15. 上記の「補助金の交付条件」は、財団管理委員会が授与するすべての交換補助金に適用する。これには、管理委員会の承認を必要とするロータリーのない国とのGSEも含まれる。交通手段の手配や助成金を含む本補助金に関するすべての事項は、管理委員会の方針に従って管理される。

私たちは上記の「補助金の条件」、および2010-11プログラム年度のために組み合わせが行われるよう、2009年10月1日までに本申請書がロータリー財団に届くよう提出しなければならないことを理解し、同意します

\_\_\_\_\_  
現地区ロータリー財団委員長氏名（ローマ字で記入のこと）

\_\_\_\_\_  
2010-11年度地区ガバナー氏名（ローマ字で記入のこと）

\_\_\_\_\_  
現地区ロータリー財団委員長署名（必ずご署名ください）

\_\_\_\_\_  
2010-11年度地区ガバナー署名（必ずご署名ください）

\_\_\_\_\_  
日付

\_\_\_\_\_  
日付



Group Study Exchange Department  
The Rotary Foundation  
One Rotary Center  
1560 Sherman Avenue  
Evanston, IL 60201-3698 USA  
電話：1-847-866-3330  
ファックス：1-847-556-2143  
www.rotary.org